

助成金等公費情報

山梨県 ブランドチャレンジ支援事業費補助金

「やまなしブランド」形成のため、他の地域中小企業等の新たな事業活動の誘因となる先導的企業及び自主努力旺盛な企業に対し、必要経費の一部を補助するものです。

■対象事業：「やまなしブランド」形成のための事業であって、

(1) 地域ブランドの形成や認知イメージアップを推進する事業

(2) 地域の優れた資源による地域産業振興等の経費削減のために行う事業

■対象者：(1) 地域中小企業等(資本金、従業員等の条件あり) (2) 二以上の企業等の員外であって、その構成員の2/3以上が地域中小企業等であるもの (3) 地域中小企業等によって構成されている組合又は団体

■助成額：1 補助事業 250万円(海外展開を図る事業については300万円)、対象者に依る額あり

■応募期間：平成26年12月1日～12月12日 午後4時必着

■ご報告先：山梨県産業振興部地域産業課 TEL: 055-223-5971 FAX: 055-223-1543

URL: http://www.pref.yamanashi.jp/chikisang/brand_challenge/documents/bosyuanne26-4.pdf

山梨県 産業集積促進助成金

山梨県で土地を取得し工場等を設置した場合、または、自社所有地に工場等を設置した場合、建物、機械設備等の投資額を助成する制度です。

■対象業種：(1)製造業 (2)試験研究所 (3)バイオテクノロジー利用業 (4)その他 知事が認める事業

■対象地域：県内全域

■対象要件：工場等の設置、土地・借地権の取得、地下埋蔵物等、従業員の新規雇用等の条件があります。

■補助率：(1)製造業の場合、地下埋蔵物等(土地取得費を除く)の10% (2)その他 同 5%

■補助対象期間：増加従業員数に応じて 3～10億円

■公募期間：随時

■ご報告先：山梨県産業振興部産業課 TEL: 055-223-1472 FAX: 055-223-1546

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/sangyo/seido/index.php>

今後のイベント情報

農産工連携マッチングフェア

日 時：平成27年1月28日(水) 13:30～17:00

場 所：甲府富士ホテル1階グランドホール(界山館)

主 催：山梨県農工連携推進委員会、県下各商工会

テクノプラザおやもものづくりフェア2015

日 時：平成27年2月6日(金)～7日(土)

場 所：ラオカヤ 2階特設会場

入 場：無料

FC EXPO 2015
第11回 水素・燃料電池展

日 時：平成27年2月25日(水)～27日(金)

場 所：東京ビッグサイト

主 催：リード エグジビション ジャパン(株)

山梨大学 個別技術相談会

山梨大学研究者が、今抱えている技術などの相談に

応じます。お気軽にご相談ください。【参加無料】

日 時：平成27年1月21日(水) 11:00～16:00

場 所：キャンパスインノベーションセンター 2階 多目的室2及び3

【発行 2014年12月】

国立大学法人 山梨大学
社会連携・知財管理センター
新技術情報クラブ事務局
〒400-8510 山梨県甲府市西田4-4-37
TEL: 055-220-8754 FAX: 055-220-8757
E-mail: rankai-as@yamanashi.ac.jp
URL: <http://sangaku.yamanashi.ac.jp/>

大学TOPICS

渡邊助教が国際会議「ADMETA」でTechnical Achievement Award受賞

工学部先端材料工学科の渡邊清洋助教がADMETA(Advanced Metallization Conference: Asian Session)のTechnical Achievement Awardを受賞し、平成26年10月22日

(水)～24日(金)に東京大学で授賞式が行われました。同賞は優れた技術論文発表に対して与えられるもので、今回は41件の中から3件が受賞しました。受賞論文は「超導CO2液体を用いた超導アスペクト比制御のCu被覆」で、集積回路の3次元実装用実装設備において、有用で非常に高いアスペクト比を有する微細超導被覆の製造に超導CO2液体を用いることによって、Cu(銅)被覆を均一に形成できることを示したものです。

関連HP ADMETA2014HP: <http://www.admeta.org>

※ 集積回路の最先端製造技術に関する国際会議



受賞者、渡邊助教は右から2人目

国際シンポジウム「University of Yamanashi International Symposium UYIS 2014」を開催

10月3日(金)、甲府キャンパスにおいて、国際シンポジウム「University of Yamanashi International Symposium UYIS 2014」を開催しました。これは、文部科学省平成21年度科学技術振興費「若手研究者の自立的研究環境整備促進」プログラム「先端領域若手研究リーダー養成拠点」事業(平成25年度終了)及び平成24年度科学技術人材育成費補助金「デュアトラック普及推進事業」の一環として開催したものです。第1部では、横 敏明氏(独立行政法人科学技術振興機構科学技術イノベーション創出基盤構築事業プログラム主管)及び平塚 浩士氏(群馬大学理事(研究・企業担当)、副学長)をお招きし、デュアトラック制度普及推進のための講演会を行いました。第2部では、Rosa Erra-Balsells氏(ブエノスアイレス大学(アルゼンチン)教授)、野田 浩氏(愛媛大学教授)河原英紀氏(和歌山大学教授)をお招きしての講演と若手研究者の研究発表を行いました。当日の様子は、先端領域若手研究リーダー養成拠点のホームページ(<http://www.eng.yamanashi.ac.jp/tenure/symposium/14.html>)をご覧ください。



横 敏明氏

科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業「さきがけ」に2件採択

平成26年度科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業「さきがけ」の公募が行われ、応募総数1,569中105件の研究課題が採択されました。そのうち本学からは以下の2件の研究課題が採択されました。

・採択課題名：「液-液-固三相界面構造を制御した有機ハイブリッド基盤形成」

研究代表者： 塩塚 昭博准教授(燃料電池ナノ材料研究センター)

研究の概要： トルエンなどの芳香族有機分子を有機ハイブリッド(エネルギー

キャリア)に電気化学的に直接合成する新しい方法を考案

・採択課題名：「高次知能を獲得するリソース指向型オンラインマイニングの開発」

研究代表者： 山本浩志助教(工学部コンピュータ理工学科)

研究の概要： 大量のデータに隠れている高次の潜在パターンやルール、属性

などの知能を、高速・省メモリで抽出する技術の開発を目指す研究

JSTの発表: <http://www.jst.go.jp/kisoken/presto/news/2014/140926presto.pdf>

※ JSTさきがけ:

国の科学技術政策や社会的・経済的ニーズを

踏まえ、国が定めた戦略目標の達成に向けた

目的志向型の個人型研究を推進するプログラム

HP: <http://www.jst.go.jp/kisoken/presto/>

特許最新情報についてはクラブ会員のみへの提供となっておりますので、本掲載では非公開とさせていただきます。

イベント活動報告

「個別技術相談会」を開催しました！！

10月15日（水）に第19回個別技術相談会を開催いたしました。

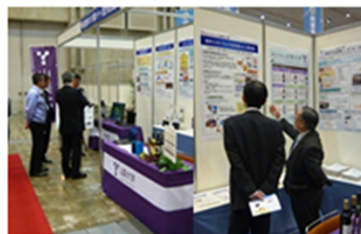
今回は、山梨県中央銀行・山梨県経営者コンサルティング（株）・八王子商工会議所・武蔵野商工会議所よりご協力を得て山梨中央銀行八王子支店にて開催し、本学研究者と社会連携コーディネータによる相談を行いました。約1年ほどの開催という事もあり12企業・18件もの相談があり、当初設定した相談時間数の枠を超えて対応させていただきました。参加された企業様には大変好評を頂き、今後にも続く相談会になりました。

「やまなしテクノICTメッセ」に出展しました！！

県内最大級の「ものづくりと情報通信」の展示会である「やまなしテクノICTメッセ2014」が11月14日（木）・15日（金）にアイメッセ山梨にて開催され、山梨大学の技術シーズを紹介しました。

ポスター展示では、工学部機械工学科の武田 智晴先生、野田 善之先生、鎌山 善之先生および情報メカトロニクス工学科の北村 敬也先生、西崎 博光先生の5名の研究を紹介しました。また、11月14日（木）15日（金）は野田善之先生による3日連続展示ジョイスティックの振作実演を行い多くの方々が見物しました。

本イベントは今年で36回目で、新たなビジネスチャンス創出の機会とされており、来場者数は10,111名と盛況でした。



本学ブースの風景（左） 説明する連動調整コーディネーター

「アグリビジネス創出フェア」に出展しました！！

11月12日（水）・14日（金）まで東京ビッグサイトにて農林水産省主催のアグリビジネス創出フェアに山梨大学としてブースを出展しました。ブースでは鈴木俊二先生の「新規農産物を用いたブドウ農産物加工」、長沼孝文先生の「油桐殻を用いたバイオマスからの油脂の生産」、新藤英之先生の「金ナノロッドを用いたアミノ酸抽出方法」についてポスター展示を行いました。鈴木先生からは、研究成果であるワインも出展いただき、多くの来場者にご試飲いただきました。

当フェアは毎年開催され、全国の大学等の研究機関が出展し、農産物の試食もあり、産学連携のマッチングの場として活用されています。



来場者で賑わう本学ブース

コーディネーターによる【研究者紹介】

工学部 機械工学科 准教授 野田 善之 (のだ よしゆき)

工学部機械工学科の野田先生をご紹介します。

先生は力学解析と制御技術を専門とし、産業界が求める生産プロセスの低コスト化、設備や機械の高速・高精度化、高機能化、高信頼性などの高付加価値化に対応するため、生産プロセスや機械システムの動作プロセスを解析し、それを制御システムに活かす研究をしています。具体的な研究テーマをキーワードで表現すると、「制御・高速動作制御」「低重心型平行二輪ビークル」「ジョイスティックを用いた振作実演」になります。中でも、「機械で液体を握る」に「流体」を「圧縮」に「そく」研究はその代表的なもので、世界のトップを行く研究です。地域や社会への貢献を研究のモットーとし、企業との交流も積極的に行っています。最近では、11月13-15日のやまなしテクノICTメッセで、ジョイスティックを展示・説明し多くの方々と接しておられました。また、これをシース技術として応用展開した「農地運搬支援ビークルの研究開発」が、本学の平成26年度新事業創出プロジェクトに採択され順進しています。これは、小型で小回りが利きかつ不整地や傾斜地でも荷物を水平運搬できる農地運搬支援ビークルの開発ですが、他分野へも展開出来る「ロボットビークルプラットフォームの開発」とも云えるもので、産業界に大きな期待が寄せられています。（記：最上コーディネーター）



産学官連携TOPICS

アカデミックサロン（第3回、第4回）を開催しました！！

アカデミックサロンの第3回は平成26年9月19日（金）、第4回は11月21日（金）に、午後4時から甲府駅北口「CAFE 国士」にて開催しました。第3回はものづくり系の話題とし、工学部の石田先生から「金属素材利用3Dプリンタ」、牧野先生から「群ロボット・経路ホース等」についてプレゼンテーションをされました。第4回は情報系の話題とし、工学部の松吉先生から「日本語で書かれた文書の内容を解析するコンピュータ」、堀井先生から「ものづくりを支える知識・情報処理技術」のプレゼンテーションをされました。図や映像を使った分かりやすい説明をして頂き、産学官間の意見交換が行われました。午後6時以降は第2部として、お弁当と地元ワインを美味しくながら打ち解けた交流となりました。

参加者からは、最先端の話題に触れながら普段の仕事とは違った雰囲気の中で心もリフレッシュ出来たと大変好評でした。



第3回の 石田先生（左）と牧野先生（右）



第2部はお弁当とワインで懇談（第3回）



第4回の 松吉先生（左）と堀井先生（右）

「クラブ会員企業様へのご訪問」の案内を送付致しました！！

「クラブ会員企業様へのご訪問」は、新技術情報クラブのサービスとして年1回実施するもので、今回は12月から来年2月のご訪問を予定しています。本学の研究者が保有する技術などの知識・知見や情報を活用していただくために、ご希望に応じて本学研究者とコーディネーターが皆様へのご会社へ訪問させていただきます。技術相談のほか、出張講演のご相談、フリートークなどご希望に沿ったものになりたいと思います。

11/27に案内および日程・内容に関するアンケートのメールを送付しておりますので、ご回答をお願い致します。担当のコーディネーターが、連絡し詳細を伺っていきます。既に本学の「研究者紹介」を送付しておりますので、ご希望の研究者をご指名いただければ、送致致します。

